

改善計画書

施設名 かしの木ひろば (担当者 一路 博美)

(作成年月日 平成 29 年 3 月 14 日作成)

改 善 事 項 等								施設コメント	
施設として特に続けられるべきこと	1	中期計画については障がい福祉、児童福祉、高齢者福祉、地域連携など、様々な項目ごとに課題も視野に入れ、動向を見ながら取り組んでいく。							
	2	法人として地域を取り巻く環境を大切に思っている中、利用者動向、利用者分析などの把握を各関係機関と連携を取りながら努めている事。							
	3	管理者、リーダークラスは業務やOFF-JTを通じて、継続的に部下育成をしていく為に、毎月の勉強会では職員それぞれが講師も務めている事。							
	4	利用者支援において、毎日ミーティングや記録簿の確認、個人ごとの手順書を活用し、見直ししながら、寄り添った支援を継続している事。							
	5								
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当	
地域連携	1	中期計画の伝達	職員研修会を開催し、全員に周知する。	1ヶ月	H29年4月	H29年4月	全員対象の職員研修会を開催し、全員に周知、理解できる様伝達した上で、意見交換する。(上層会議に意見を伝える。)	管理者	
	2	職員個別の育成計画	個別支援計画の立案	3ヶ月	H29年4月	H29年7月	これまでの受講計画の確認と個人の強みと弱みを把握し、個別研修計画を策定する。	管理者・副園長	
	3	意見箱の設置	家族やご利用者の想いを知る。	6ヶ月	H29年4月	H29年9月	意見箱を設置し、園内の人目のつかない2か所に設置し、用紙を置き、自由に記入投函してもらえるようにする。1回/2w中身を点検する。	副主任	
	4	緊急対応マニュアルの作成	避難訓練は毎月行っているが、これからは予知外の訓練も重ね、不意の事故の防止につなげられるようにする。	6ヶ月	H29年4月	H29年9月	有事の際等マニュアルに沿って職員が対応できるように警察・消防・等と連携した訓練。 ・日頃からの訓練(抜き打ち訓練含む)を行う。	全職員	
	5	管理者及び各役職ごとの役割を確認する。	管理者及び各役職の役割を自覚する。	1ヶ月	H29年4月	H29年4月	職員会議において管理者と各職員の役割について周知徹底・確認を行う。	管理者・副園長	
	6								
工夫されたこと	1	家族参加型の行事を計画	家族や利用者、ボランティア、職員とのふれあいの時を持つ。	1年	H29年4月	H30年3月	茶話会等の計画。	全職員	
	2	マニュアルからの個別化	サービス水準を保った上での個別化を図る	1年	H29年4月	H30年4月	利用者の状態に応じたマニュアルを再確認してテイルプロプログラムの見直しをして文章化する。	サービス管理責任者 サービス提供責任者	
	3	キャリアパス制度を導入する。	法人本部と連携をし、キャリアパス制度のさらなる充実を図る。	1年	H29年4月	H30年3月	中期計画と連動し、法人本部のキャリアパス導入と併せて本年度は給料表を見直す。	管理者・副園長	
	4	ボランティアの高齢化に伴い、人数の増加も望みたい。	現在、ボランティアをしていただいている方以外の方と、これから関わる機会を増やしていく。	6ヶ月	H29年4月	H29年9月	現在、月1回ときめきニュースの手渡し、出あった時の声かけ→各集りで等で声かけを行う。 リーフレットを作成し、法人内事業所・公民館等に置かせてもらう。 ボランティア体験講座を開催する。	管理者・副園長 ボランティア担当	
	5								
予算化しないといけないこと	1	トイレ(2階)の男女別を設ける。	男女兼用トイレの個別化工事	2年	H29年4月	H31年3月	予算化・工事計画を作成し、工事を行う。	管理者、法人	
	2								
	3								
	4								